

# ガンバレ！！いしかわ農業の担い手たち！ ～新規就農者からのメッセージ～

## 花に癒される農業もあるよ

ニューファーマー  
かみさかまい  
上坂雅衣 (26歳)

### プロフィール

石川県白山市生まれ  
調理師専門学校卒業後ホテルに就職  
平成16年、実家である宮子花園の鉢花  
生産直売店に就農  
平成19年に結婚  
平成20年に第一子出産  
現在子育てしながら農業を続けている。



就農してから現在まで  
現在はハーブのショップで、ハーブを使ったクッキーやケーキを作り、花を買いにいらっしゃるお客さんに楽しんでもらえるように、喫茶コーナーと接客、アロマグッズ等雑貨の仕入れなどを担当しています。  
敷地内の花の生産や知識はまだ不十分で、課題はいっぱいです。

日々の主な仕事としては、ハーブティーをオリジナルでブレンドしたり、クッキー等加工品の製造、販売などを行っています。  
作業は人に指示されるのではなく、自分で探して計画し、その日やれることを自分の感性で出来るのが楽しみですが、その分責任を感じています。

現在、灯油や資材のコストが上がり苦しい状況ですが、手をかけただけ綺麗に咲いてくれる花や、日々、お客様からの喜びの声が頂けるので、家族みんなで、各々の分担を頑張っています。

今は子供と一緒に花畑を散歩したりしながら、のんびりマイペースで仕事をさせてもらっています。緑と花に囲まれて、子供も豊かで優しい子に育ってくれればいいなと思っています。

### 就農のきっかけから実際の就農まで

父は昭和40年頃からシクラメンを中心に花を生産し出荷する農業をしており、私が中学生になる平成6年頃から両親で花の直売を始めました。幼い頃から花に囲まれ敷地内で遊んでいました。

母は以前からハーブに関心を持っており、私が高校入学した平成9年にハーブと香りのショップ「花香房 夢見草」(はなこうぼう ゆめみそう)を開設しました。

それをきっかけに、私もハーブに興味を持ち始め、お店の手伝いをしながらベランダで私自身もハーブを栽培していたので、育てる楽しみをこの頃知りました。

そのうち“食”への関心が高まり京都の調理師専門学校に進学・就職もしましたが、地元が恋しくなり、実家に帰り働くことにしました。

両親は就農にあたり、私の興味の分野や経験を考慮し、生産部門ではなく収穫された草花を使う加工品づくりをさせてくれたので、割とスムーズに「農業」という職業へ入ることが出来ました。

将来はこんな農業をめざします！  
ストレス社会に、ほのぼの暖かみのあるお店と  
心癒せる花とハーブを提供したい。！！

### 今後就農を目指す人へ

私のように、外で土をいじらない農業への就農もあるので、視野を広げて農業を選ばれたらいいなあと思います。

自分だけの農業に閉じこもらず地域にある農業青年活動の方達と交流をもつことにより視野も広がります。

### 農林事務所所長よりひとこと

取材ではハーブの効能を活かした店独自のブレンドや活用方法等、お客様からの専門的な質問に責任を持って答えようとする気構えをしっかりとることが出来ました。  
そして、両親が担当している生産部門への参入のことやネット販売との兼ね合い等、経営全般にわたる構想もおぼろげながら語ってくれました。

近い将来、宮子花園のセールスポイントである半年は持つシクラメン、特製の土、そしてハーブ等を武器に雅衣さんが先頭に立って切り盛りするシーンが目に浮かびます。

ガンバレ 雅衣さん!!